

徳川四天王の一人井伊直政と言えば、「ああ、聞いたことがある」。その井伊直政の後見人となって育て上げ、戦国時代の井伊家の危機を救ったのが井伊直虎です。井伊家にゆかりのある詩、四題を発表いたします。

① 浜名湖北岸の引佐細江に設置された漣標は万葉の昔から船の安全を守ってまいりました。

「遠江」 (和歌) 作者 不詳

遠江 引佐細江の漣標 吾を頼めて あさましものを

② 奥山は浜名湖の北側に位置し、井伊谷城をはじめ井伊家が根拠とした土地がございます。

「奥山に宿す」 (漢詩) 楚州

落葉千峰の雨 鳴鐘半夜の霜
高僧時に月を指さし 心境座して相忘る

③ たそがれ時に聞こえる湖北五山の鐘の音に誘われるように、銀杏の葉が舞い落ちていきます。

「昏鐘や」 (俳句) 有馬朗人

昏鐘や 一打一打に 散る銀杏

④ 桶狭間の戦いは、戦力的に圧的優勢であった今川義元の油断もあって、織田信長の奇襲戦法に完敗し、今川軍の先鋒を務めていた直虎の父、井伊直盛をはじめ井伊家の家臣の多くを失いました。

「桶狭間の戦い」 (漢詩) 大田錦城

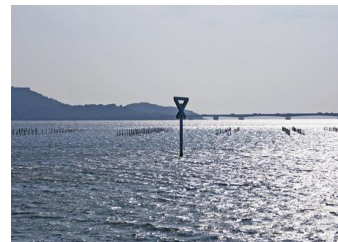
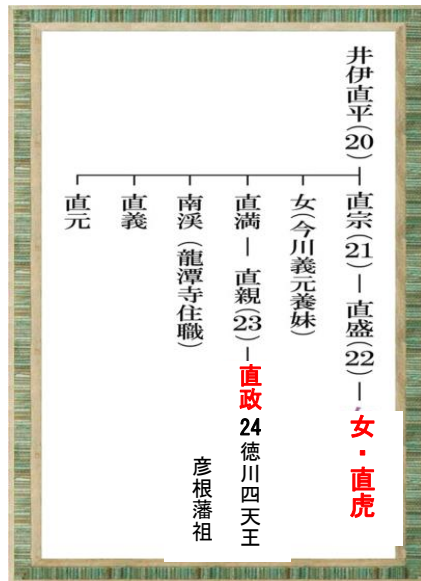
荒原古を弔う古墳の前 戦い克つて将驕る何ぞ全きを得ん
怪風雨を吹いて昼晦の如し 驚破す騎兵天より降るか



今川義元の墓
桶狭間古戦場伝説地



方広寺鐘楼



引佐細江の漣標
(バックは浜名湖大橋)

舞台設営・片付け	: 3分
ナレーション合計	: 3分
「遠江」	: 2分
「奥山に宿す」	: 2分
「昏鐘や」	: 1分
「桶狭間の戦い」	: 2分
合計	13分



浜松市